

「東京歯科大学千葉病院医療連携講演会」開催のご案内

謹啓

初夏の候、時下ますますご清祥の段お慶び申し上げます。平素は当院との医療連携に多大なるご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年も「東京歯科大学千葉病院医療連携講演会」を開催することとなりました。昨年同様、テーマは千葉県歯科医師会及び近隣歯科医師会代表の先生方からのご意見を頂戴し、決定しております。

先生方におかれましては、ご多忙中のこととは存じますが、お知り合いの先生もお誘い合わせの上、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

平成29年5月吉日

東京歯科大学千葉病院

病院長 一戸達也

医療連携委員長 柴原孝彦

記

日時・場所：平成29年7月6日（木） 受付 14：30～15：00

講演会 15：00～18：30

【会場】 東京歯科大学 **実習講義棟3階 歯科臨床研修医室**

※ 演者・スタッフの服装につきましては、クールビズとさせていただきます。

協力：千葉県歯科医師会 千葉市歯科医師会 習志野市歯科医師会 印旛郡市歯科医師会
市原市歯科医師会 八千代市歯科医師会 船橋歯科医師会 江戸川区歯科医師会

会費：無料 ※ 軽食のご用意がございます。

症例相談：症例相談コーナーを設けています。症例相談をご希望の先生は、別紙 参加申し込み用紙 下覽に相談内容をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。ご相談の対応は、当院医療連携委員が担当いたします。当日は資料（口腔内写真、X線写真、口腔模型等）をご持参下さい。なお、相談希望が多数の場合は、十分な対応ができないこともございますので、予めご了承下さいますようお願い申し上げます。

申込方法：誠にお手数ではございますが、準備の都合上、別紙 参加申し込み用紙 にご芳名等をご記入の上、7月3日（月）までにFAXにてお申し込みの程お願い申し上げます。
※準備の都合上事前のお申し込みをお願いしておりますが、当日のご参加も受付けております。

<問い合わせ先> 東京歯科大学千葉病院 医療連携室

TEL 043-270-3279/FAX 043-279-2046

本講演会は公益社団法人日本歯科医師会生涯研修事業の単位認定となります。

講演内容

1. 目指そう!! “Common disease” 認知症患者への対応力向上 15:10~16:10

座長：内科 教授 大久保 剛
演者：専門歯科系(摂食嚥下リハビリテーション科) 准教授 杉山 哲也

世界的に増加傾向にある認知症患者は、日本では2013年に462万人存在し2025年には700万人に達するという報告もあり、もはや身近な病気 “Common disease” となっています。国は2013年度から2017年度までの取り組みとして認知症施策推進5か年計画（オレンジプラン）を提示し、さらに「認知症の人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指す」ことを基本的概念とした新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）を発表しました。その中で認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供の一つとして、歯科医師の認知症対応力の向上が求められています。本講演では、認知症対応力向上の一助となるような、歯科医師が知っておくべき認知症の基本的概念、認知症患者への基本的対応などについてお話しします。

2. インプラント治療の合併症について 16:10~17:10

座長：一般歯科系(総合診療科) 病院教授 高橋 俊之
演者：専門歯科系(口腔インプラント科) 准教授 伊藤 太一 講師 古谷 義隆

近年、インプラント治療は欠損補綴の一手段として広く支持されていますが、その普及に伴い合併症の数も増加していると言われています。2012年に行われた日本歯科医学会の開業医を対象にしたアンケートでは、回答者の24.5%が自院での重篤なインプラント治療の合併症を経験しており、さらに回答者の88.4%が他院でのインプラント治療の合併症を診察したことがあると報告されています。

インプラント治療の合併症には

- ①補綴学的合併症（上部構造の破損・脱離・不適合、スクリューの緩み・破折、インプラント体の破折等）
- ②外科的合併症（神経・血管損傷、上顎洞内インプラント迷入等）
- ③生物学的合併症（インプラント周囲炎等）

があります。今回の講演では、インプラント治療の合併症において、症例を交えた具体的な対応についてお話させていただきます。

— 休憩（10分間） — 17:10~17:20

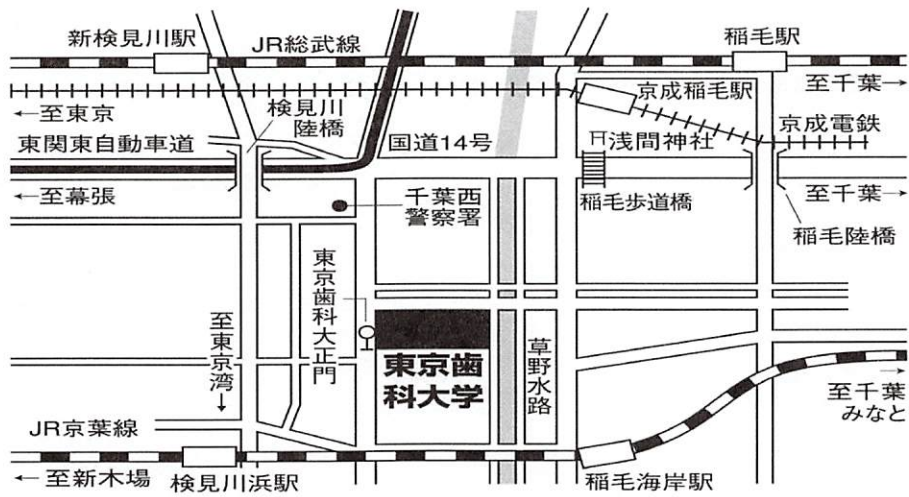
3. ARONJの原因と誘因、リスク、予防と治療 17:20~18:20

座長：口腔外科系(口腔外科) 教授 柴原 孝彦
演者：口腔外科系(口腔外科) 助教 森川 貴迪

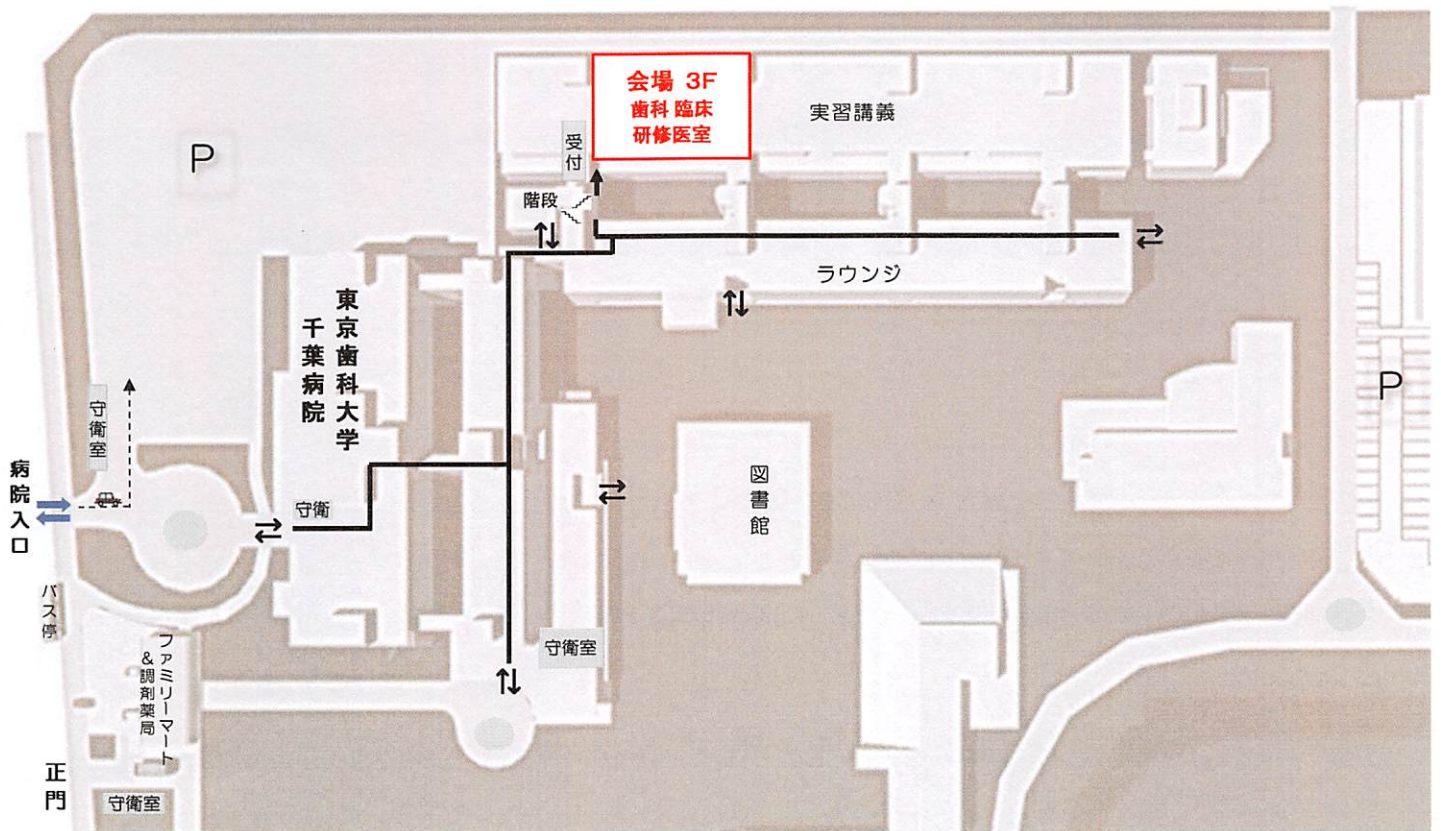
骨吸収抑制薬関連顎骨壊死（ARONJ）は、歯科だけではなく、医師、薬剤師などの多職種との医療連携が必要な疾患であります。骨吸収抑制薬としてビスホスホネート薬だけでなく、使用の増加傾向にある抗RANKL抗体デノスマブに対する対応が求められています。2016年には、わが国より新たなポジションペーパーが出され、新たな対応の指針を示しております。

本講演ではARONJの原因と誘因、リスク、予防と治療について、当院での経験症例を供覧しながら、より臨床に即した内容でお話をさせていただきます。

東京歯科大学千葉病院周辺図



【会場案内図】
実習講義棟3F 歯科臨床研修医室



⇔ 出入口

※ 会場は実習講義棟3階 歯科臨床研修医室に変更いたしました。

※ 例年と異なり駐車場台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関等をご利用下さいますようお願い申し上げます。

FAX : 043-279-2046

東京歯科大学千葉病院医療連携講演会 参加申し込み用紙

平成29年7月6日(木) 東京歯科大学 実習講義棟3階 歯科臨床研修医室

受付 14:30~15:00

講演会 15:00~18:30

申込日: 平成29年 月 日

ふりがな
施設名:

ふりがな
ご芳名:

〒

ご住所:

TEL: ()

FAX: ()

ふりがな
同伴者ご芳名:

症例相談 (内容をご記載下さい。)

<問い合わせ先> 東京歯科大学千葉病院 医療連携室

〒261-8502 千葉県千葉市美浜区真砂1-2-2 TEL 043-270-3279/FAX 043-279-2046